

機械工学委員会・基礎医学委員会・電気電子工学委員会・
材料工学委員会合同
生体医工学分科会（第25期・第3回）議事要旨

1. 日 時 令和3年12月22日（水）10：00～12：00

2. 会 場 遠隔会議（主催会場：東北大学）

3. 出 欠

（出席） 金子 真、但野 茂、光石 衛、塙 隆夫、石川拓司、石原一彦、
岸田晶夫、厨川常元、田中真美、中野貴由、増澤 徹、松本健郎、
圓山重直、山西陽子、和田成生（以上15名）

（欠席） 西條芳文、松本洋一郎、大島まり、高木 周（4名）

4. 配布資料

資料1 第25期第2回分科会議事要旨

資料2 分科会活動に関する委員からの意見・提言等まとめ（改訂版）

資料3 医工学シンポジウム企画案（ドラフト版）

5. 議 事

1) 前回議事要旨の確認（資料1）

但野委員長より、資料1に基づき前回委員会の内容が説明された。

2) 分科会活動に関する委員からの意見・提言等まとめ（改訂版）（資料2）

但野委員長より、松本洋一郎委員の意見・提案内容を追加した改訂版（資料2）を作成したことが説明された。

3) シンポジウム企画について（資料3）

但野委員長と塙副委員長より、資料3に基づきシンポジウム企画案が説明された。講演者候補について委員から複数の提案があった。企画案の概要と今後のスケジュールが承認された。今後実施に向けて具体的な内容を確定し、1月24日まで事務局に提出する企画案については委員長に一任することとした。

4) 事例紹介

4-1) 「人工臓器の研究と開発：課題は何なのか？」増澤徹委員

増澤委員より、ECMOと人工臓器の研究開発に関するパワーポイントを用いたプレゼンがされた。その後、意見交換を行った。

4-2) 「針なし気泡注射器の実用化への取組みと課題」山西陽子委員

山西委員より、針なし気泡注射器の実用化に関するパワーポイントを用いたプレゼンがされた。その後、意見交換を行った。

4-3) 「生体医工学会は臨床研究法の該当性に関するガイドラインをなぜ作ったか」

黒田知宏氏（京都大学大学院医学研究科・教授/日本生体医工学会臨床研究対応WG委員長）

黒田氏より、生体医工学会のガイドラインに関するパワーポイントを用いたプレゼンがされた。その後、意見交換を行った。

5) 意見交換

但野委員長より、意見交換の総括がなされた。

6) 今後の予定

シンポジウムの実施に向けて準備を始める。分科会はシンポジウム時に開催する予定。